

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和05年06月05日

計画の名称	姫路市における循環のみち実現に向けた安全・防災対策（３）（防災・安全）														
計画の期間	令和０２年度 ～ 令和０６年度（５年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	姫路市														
計画の目標	計画的に老朽施設の改築・更新を進めるとともに、地震対策及び浸水対策を実施することにより、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な水環境を創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		21,557	A	21,557	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	老朽施設のうち、令和2年度から令和6年度に改築・更新する7施設（（処理場）中部、東部、家島、上菅・苅野、（前処理場）高木川西、（ポンプ場）書写、西広畑）について、改築対応率を0.0%（R2）から100.0%（R6）に増加させる。 老朽施設の改築対応率 改築対応済み施設の数（施設）／R2年以降、5年間に改築が必要となる施設の数（施設）	0%	50%	100%
2	老朽管渠の管更生工事実施延長を9.9km（R2）から15.9km（R6）に増加させる。 老朽管渠の管更生工事実施済延長 管更生工事実施済み累計延長（km）	99（×0.1km）	129（×0.1km）	159（×0.1km）
3	耐震対策施設のうち、令和2年度から令和6年度に対策を実施する7施設（（処理場）中部、東部、家島、上菅・苅野、（前処理場）高木川西、（ポンプ場）書写、西広畑）について、耐震対応率を0.0%（R2）から100.0%（R6）に増加させる。 施設の耐震対応率 耐震対応済み施設の数（施設）／R2年以降、5年間に耐震対策を実施する施設の数（施設）	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	管渠（ 污水）	改築	管渠改築事業（中部処理 区他）	更生工法φ450～1500、マン ホールポンプ改築更新	姫路市	■	■	■	■	■	2,910		策定済
	A07-002	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	ポンプ 場	改築	ポンプ場改築事業（中部 処理区他）	ポンプ場改築更新	姫路市	■	■	■	■	■	3,970		策定済
	A07-003	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	ポンプ 場	新設	ポンプ場耐震化事業（中 部処理区他）	ポンプ場耐震化	姫路市	■	■	■	■	■	1,400		－
	A07-004	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	終末処 理場	改築	処理場改築事業（中部処 理区他）	終末処理場・前処理場改築更 新	姫路市	■	■	■	■	■	11,850		策定済
	A07-005	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	終末処 理場	新設	処理場耐震化事業（中部 処理区他）	終末処理場・前処理場耐震化	姫路市	■	■	■	■	■	820		－
A07-006	下水道	一般	姫路市	直接	個人	管渠（ 雨水）	新設	雨水貯留タンク設置助成 事業	貯留タンク設置	姫路市	■	■	■	■	■	4		－	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-007	下水道	一般	姫路市	直接	個人	管渠（ 雨水）	新設	雨水浸透ます設置助成事業	浸透ます設置	姫路市	■	■	■	■	■	3		—	
	A07-008	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	管渠（ 污水）	改築	ストックマネジメント計画策定事業	ストックマネジメント計画策定・点検調査	姫路市	■	■	■	■	■	600		策定済	
											小計							21,557		
												合計							21,557	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	1,292	949	784	1,041	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	1,292	949	784	1,041	
前年度からの繰越額 (d)	0	822	791	766	
支払済額 (e)	470	980	809	880	
翌年度繰越額 (f)	822	791	766	927	
うち未契約繰越額(g)	97	190	429	213	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	7.5	10.72	27.23	11.78	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		関係機関との調整に時間を要したため。	関係機関との調整に時間を要したため。	関係機関との調整に時間を要したため。	

事前評価チェックシート

計画の名称： 姫路市における循環のみち実現に向けた安全・防災対策（３）（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 １）上位計画（流総計画、都市計画、公害防止計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 ２）下水道の諸計画（流域下水道事業計画、公共下水道事業計画、ストックマネジメント計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 ３）関連する諸計画（総合計画、生活排水処理計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 １）地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 ２）必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③整備計画の効果及び効率性 １）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④定量的指標の明瞭性 １）指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性 １）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性 ２）目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果 １）十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果 ２）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境 １）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境 ２）関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑧地元の機運 １）事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑧地元の機運 ２）計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

(参考図面)

